

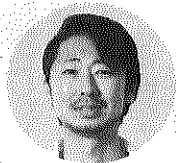
# AIで施設マッチング

法人向けにマーケティングのコンサルティング事業などを行うステッチ(東京都千代田区)は介護相談事業を展開するケアトーク(同港区)と提携し、高齢者向け住宅紹介サイト「ココシニア」を9月29日開設した。「施設の雰囲気」を基に、AIにより入居後に満足を得られる傾向が高い施設を提案する、マッチングシステムを導入しているのが特徴。順次、提案可能な施設数を増やす予定だ。

## 正答率75% 100件のデータ根拠に

### ステッチ

老人ホームを中心に、約100カ所の施設情報が発見され、AI開発及び活用によるマッチングなどを手掛けるAVIENは、10月5日時点で、有料ユーザー登録すること



ココシニア事業部 三富敬太氏

(同中央区)のAIレコメンドエンジン「FALCONエンジン」をベースに開発したAIによるマッチングシステムを導入し、入居後のミスマッチを減らしていることが特徴だ。

AIによるマッチングは、入居予定者のパ

「オンナリテイ」が「施設の雰囲気」と合致するかを判定する。利用者は、介護度、認知症の有無、これまで1番長く勤めていた職種、趣味、家にいるときの服装など、生活環境に関する11の設問に回答する。その結果に基づきAIが判定し、数施設を提案する。

AI構築の中心役となった、ステッチココシニア事業部三富敬太氏は「施設の雰囲気」と回

という一見あいまいな評価を科学的手法で分析し、それに基づきAIでマッチングするシステムは、先進的な試みであると認識しています」と語る。

「施設の雰囲気」に着目したきっかけとなったのは、2019年に同社が実施した、アンケート調査の結果だ。「親の施設選びで重視したこと」を尋ねる設問に、53.4%が「施設の雰囲気」と回

答。さらに、「次に施設を選ぶ際には何を重視するか」という設問でも「施設の雰囲気」との回答がトップとなった。

「しかし、一般的な施設紹介サイトでは、『施設の雰囲気』を重視しているとは言いがたいと感じます」と三富氏は指摘する。「その課題解決のため、ココシニアの開設に至りました」

「施設の雰囲気」を分析するに際して、それを構成する要素として、「衣」「食」「住」「人」の4大項目を設定。さらにそれぞれを

「入居者が好きな服を着用しているか」「料理や器の見た目はどんなものか」などの要素に分解。実際の施設入居者1000人分のデータを基に、AIを用いてこれらの要素について、独自のアルゴリズムによる解析を行う。

「それにより、『手芸などを趣味とする人』が『ビル型の施設に入居する』と入居後の幸福度が高まるといった結果が得られました。これを、利用者のパーソナリティ診断と照らし合わせ、マッチングを行います」

同社が実施したテスト結果によると、AIの正答率は75%。マッチング件数を重ねて得られたデータを反映することで、精度は向上していく見込み。

今後は、「どの介護保険サービスを利用するのが望ましいのか」といった提案も可能となるよう、開発を進めていく。

AIアシスタントココちゃんに聞いてみる。

自分自身の希望の中で、入居希望の施設やサービスを探したい。AIアシスタントココちゃんに聞いてみる。

ココちゃんに質問すると、最適な施設やサービスを提案してくれます。

ココちゃんに質問すると、最適な施設やサービスを提案してくれます。

ココちゃんに質問すると、最適な施設やサービスを提案してくれます。